

昭和44年中の横浜市の交通事故件数は13,542件で、死傷者は18,921人となっており、件数・死傷者とも年々増加している。とくに横ばいかむしろ減少していた事故による死者が、44年になって大巾に増加したことが注目される。事故類型別では大半が車両相互の事故で、とくに追突事故が多い。そのため事故は自動車交通量のふくそうする幹線道路に多く発生している。区別にみると、保土ヶ谷・港北・戸塚などの周辺部では事故件数に比べて死者の数が多く、鶴見・西・中などの都心部では死者の割合が少なくなっている。これは、市街地部分が交通渋滞によって自動車の速度が遅くなり、追突・接触などの事故は増加しても、死に結びつく大事故は減少しているのに反し、郊外部では制限速度以上で走行する車両が多いことなどによるものと思われる。都市化が周辺地域へと波及するにつれて、交通事故も郊外部へと広がりがつづける。

一方、交通量の増加につれて交通渋滞箇所も増えており、なかでも幹線道路の結節点で渋滞が発生しやすい、最も混雑する高島町交差点は横浜市の中心に位置し、一般国道1号〈東海道〉と16号が交差する、政治・経済・産業・観光のための重要な通過地点となっているので、全県下の渋滞量の11.6%を占めている。これにつづき鶴ヶ峰・西谷の両交差点は、横浜市内から相模原市と東京都内に通ずる唯一の幹線道路である一般国道16号にあって、通過交通が多い。

横浜市内における交通事故の推移
Change of Traffic Accidents In Yokohama

年	件数	傷者			死傷者計
		死者	重傷	軽傷	
39	10,519	263	739	6,016	7,068
40	11,670	203	789	6,997	8,118
41	13,175	202	918	9,185	10,594
42	14,670	192	1,180	12,788	14,160
43	13,057	206	1,199	16,304	17,709
44	13,542	245	1,186	17,490	18,921

※43年から件数が人身事故のみとなったので、42年に比較して一減少してみよう。

市内各区分別交通事故発生状況
Traffic Accidents In All The Wards

区別	件数	死者	傷者	死傷者計
鶴見	1,543	33	2,121	2,154
神奈川	1,284	37	1,824	1,861
西	1,051	11	1,470	1,481
中	2,211	18	3,046	3,064
南	1,610	17	2,107	2,124
保土ヶ谷	1,341	36	1,896	1,932
磯子	824	10	1,219	1,229
金沢	692	13	1,009	1,022
港北	1,371	46	1,761	1,807
戸塚	1,615	24	2,223	2,247
計	13,542	245	18,676	18,921

昭和44年度

類型別交通事故（全県下）
Classified Traffic Accidents
(In The Entire Prefecture)

	件数	死傷者	死傷者%
対面進行中	455	512	1.1
背面進行中	771	846	1.8
交差点横断歩道横断中	1,257	1,352	2.8
交差点横断歩道外横断中	977	1,047	2.2
単路横断歩道横断中	347	374	0.8
単路横断歩道外横断中	1,358	1,436	3.0
路上進入・作業中	215	230	0.5
路上へのとび出し	2,637	2,711	5.6
その他	1,401	1,600	2.3
小計	9,418	10,108	21.0
追越時正面衝突	338	764	1.6
その他の正面衝突	1,585	2,937	6.1
追突	9,565	15,210	32.4
出合衝突	4,001	5,616	12.5
右折時側面衝突	2,949	3,673	8.4
左折時側面衝突	814	884	2.0
追越時接触	776	942	2.2
すれ違い時接触	567	698	1.7
その他	2,705	3,115	7.3
小計	23,300	33,271	74.2

- 救急事故発生地点
Emergency Accident Occurred Point
- 交通渋滞・年間1000時間以上
Traffic Jam more than 1000 Hours per Annum
- 交通渋滞・年間500-1000時間
Traffic Jam 500 to 1000 Hours per Annum
- 交通渋滞・年間100-500時間
Traffic Jam 100 to 500 Hours per Annum
- 交通渋滞・年間50-100時間
Traffic Jam 50 to 100 Hours per Annum
- 交通渋滞・年間0-50時間
Traffic Jam 0 to 50 Hours per Annum

7大都市の交通事故——Traffic Accidents In Seven Large Cities

都市	対前年		対前年		対前年	
	件数	増減率%	死者	増減率%	負傷者	増減率%
横浜市	13,542	3.8	245	18.9	18,676	6.8
東京区部	65,006	△1.8	632	17.7	86,514	△0.4
名古屋市	19,792	△0.4	254	12.9	25,552	0.3
京都市	18,427	19.8	176	10.7	25,067	21.6
大阪市	29,128	△3.5	324	6.2	39,391	0
神戸市	12,732	7.7	155	20.2	16,590	9.48
北九州市	7,433	14.7	121	22.2	9,450	11.84

昭和44年度

主要地点における交通渋滞状況
Traffic Jam In Main Roads

地点別	路線方向別	上り下り別	渋滞時間
●高島町	一般国道1号	上	56.00
		下	1,209.15
	一般国道16号	上	2,818.00
		下	24.00
	計		4,107.15
●鶴ヶ峰	一般国道16号	上	629.30
		下	2,815.30
	主要地方道11号	上	380.00
計		3,825.00	
●西谷	一般国道16号	上	3,135.30
		下	249.00
	計		3,384.30
●桜木町駅前	一般国道16号	上	196.30
		下	1,946.00
	一般国道133号	上	46.00
計		2,188.30	
●弘明寺	主要地方道8号	上	543.10
		下	371.30
計		914.40	
●三ツ沢西町	一般国道1号	上	164.10
		下	538.00
	一般県道8号	上	52.00
下	18.30		
計		772.40	
●横浜駅前	一般国道1号	上	98.00
		下	543.30
	市道	上	5.00
計		646.30	

神奈川県警本部調査

- 救急事故発生地点図
- 昭和43年中に市の救急隊が出動した人身事故発生地点
- 作成：横浜市消防局警防部救助課
- 交通渋滞箇所図
- 昭和44年中に渋滞度3以上の渋滞(信号3-4回待ち以上、300-400m以上の渋滞)が10時間以上おきた地点
- 資料：神奈川県警本部/図作成：横浜市道路局建設部補修課
- その他の資料：神奈川県警本部
- 解説：横浜市道路局建設部補修課

